

2025年9月2日

埼玉労福協 理事・監事 各位

一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会

理事長 近藤 嘉 [公印省略]

「教育フォーラム2025」開催のご案内と参加のお願い

日頃より（一社）埼玉県労働者福祉協議会の事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、埼玉県では、教育に対する関心と理解を一層深める機会として、毎年11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。

教育の日を含む、教育週間には、家庭、学校、地域社会の連携のもとに、教育に関する様々な取り組みが行われており、当協議会もこの時期に合わせて「教育フォーラム」を開催しています。

つきましては、「教育フォーラム2025」を下記の通り開催いたしますので、貴組織からのご参加につきまして、特段のご配慮をお願い申し上げます。

記

1. フォーラム趣旨

今、社会の中で子どもたちが置かれている状況は、決して一様ではありません。家庭環境、地域のつながり、学校での人間関係、それぞれの要因が複雑に絡み合い、時に子どもたちを孤立させ、自己肯定感を奪ってしまう現実があります。

そのような中で、子どもたちが「安心して過ごせる居場所」を持つこと、そして「自分の力を発揮できる出番」を得ることは、単なる福祉施策ではなく、子ども一人ひとりの尊厳と権利を守るための社会的責務であると認識しています。

「居場所」とは、物理的な空間だけではなく、そこにいて安心できる、ありのままの自分が受け入れられる、そんな心理的安全性を伴った関係性のことです。そして「出番」とは、子どもが自分の存在価値を実感し、社会の一員として役割を持てる機会のことです。これらが揃って初めて、子どもは自分自身を肯定し、未来に希望を持つことができます。

「教育フォーラム2025」では、講師自身が子どもたちの声に耳を傾け、現場での実践や研究を通して見えてきた課題と可能性等について講演をいただき、私たち大人が何をすべきか、どのような社会を築いていくべきかを、共に考えていきたいと思っております。

2. 開催日 2025年11月7日（金）13時30分～16時30分

3. 会場 ときわ会館 大ホール

4. 内 容

講演

テーマ：「福祉を超えて、こどもの権利としての居場所と出番」

講 師：星野 敦子 氏

十文字学園女子大学

副学長（社会連携・研究担当） 社会連携共同研究所 所長

教育人文学部 児童教育学科 教授

以上